

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校は、北に四天王寺や国道25号線、南に天王寺・阿倍野のターミナル、西に動物園や天王寺公園、東に環状線寺田町駅を控えた寺社や商売、教育関係で発展してきた町で、子どもたちは概ね穏やかで素直な児童が多い。また校区に児童養護施設を有し、全校の約10%の児童が在籍している。児童の中には、これまでの成育歴に起因する課題を抱え、学力面にも情緒面にも細心の配慮を要する場合もある。そのため、基礎学力の育成と心の居場所、心を育む場としての学校の役割は大きい。また、近年児童数の急増が見られ、その中には様々な理由で登校しづらい児童も多い。また、中国を中心とした渡日児童の増加も著しい。その殆どが日本語を全く話せないため、学習以前のコミュニケーションに児童も教員も苦勞する場面が多くなっている。個々の児童の様子を丁寧に見取り、いかに学びにつなげていくかが、これまで以上に求められている。

本校は、教育目標を「心豊かで助け合うたくましい子どもを育てる」とし、これまでも「自ら考え判断できる子」「心豊かな素直な子」「仲よく助け合う子」「進んで運動するたくましい子」、知・徳・体バランスのとれた子どもの育成に全教職員が一丸となって取り組んできた。また、「JAET」優良校として、全学年で端末等を活用した授業づくりに取り組んでいる。

令和7年度大阪市小学校学力経年調査における標準化得点では、ほとんどの学年で市平均を上回っているものの、その差はわずかであり、今後はこの状態からさらに向上させることができるかどうかは課題である。また、令和7年度全国体力・運動能力調査の結果では男女差が大きく、一週間あたりの運動量も大きく違いがある。それは、体力合計点にも表れており、多くの種目で全国平均を下回っている。

グローバル化、情報化がますます進む変化の激しい21世紀をたくましく生き抜く自律した社会人に成長するようコミュニケーション力やコラボレーション力、ICT機器活用能力、健康な体と豊かな心をもった子どもの育成は引き続き本校の課題であると考えている。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

**【未来を切り開く学力・体力の向上】**

- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。
- ・時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.2%以上にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。

### 【未来を切り開く学力・体力の向上】

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
- 令和8年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を87%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和8年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を82%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪市立天王寺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.2%以上にする。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童が学校が楽しいと思える環境を作る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ア 子どもの情報を共有する場(生活指導部会・特別支援打ち合わせ会 など)を毎月設定することで子どもの困り感や学校の課題に教職員が気づき、適宜対応できるようにする。</p> <p>イ 全校朝会を毎月1回以上行い、天小ガイドブックと生活目標を関連付けて話す、学校全体や学級に係る様々な場面で活用し、安全で過ごしやすい学校生活を送ることにつながるようにする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>学級内・異学年間での活動を充実させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ア 互いのよさを認め合える活動を、学期に1回以上行う。</p> <p>イ ふれあい遊びや児童集会、ペア学年での遠足など、異学年間での活動を年間30回以上行い、自分や他の人のよさに気付けるようにする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## 大阪市立天王寺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した  
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を87%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 各教科で対話を通した学びの充実を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ア ペア交流やグループ活動、クラウドを活用した他者参照などによる伝え合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる授業を一日に1回以上する。</p> <p>イ 授業研究を計画的に位置づけ、協働的に学びを深める授業実践を年1回以上行い、教員の指導力の向上を図る。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 児童が進んで運動に取り組んだり、健康を意識したりする環境を作る。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ア 運動週間を学期に1回実施する。</p> <p>イ 体育科の実技研修を年間2回実施する。</p> <p>ウ 毎月、保健目標などに合わせて自分の健康生活や健康状態を見つめる取り組みを行う。</p> <p>エ 食に関する指導や給食指導を全体計画に沿って行ったり、校内の献立コンクールや給食週間を実施したりする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

## 大阪市立天王寺小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取り組みをしていますか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を82%以上にする。</p> <p>○時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 児童が主体的に活動に取り組むことを通して、情報活用能力の育成を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>ア 課題解決のために、学習者用端末を活用して、情報の収集・整理・分析・まとめ・表現することができる単元を学期に1回以上設定する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 学校閉庁日を設けるとともに、時間外勤務時間の削減に向けた取り組みを行う。</p>	
<p>指標</p> <p>ア 学校閉庁日を年8日設ける。</p> <p>イ 週1回のゆとりの日を対象となる授業中の全週中、90%以上実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	